

目標達成計画

作成日: 平成 26年 4月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に 要する期間
1	1	職員全員が理念の趣旨を理解はしているが、利用者の日々の生活での実現には結びついてはいない。	職員全員が理念の趣旨を理解し、利用者の日々の生活で実現させる。	理念について話し合いを持ち、共通の認識が持てるようにする。 3ヶ月
2	26	利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、関係者での話し合いにより、ケアプランが作成されているが、さらに具体的な個別援助計画が確立されていない。	利用者本人や家族の意見が反映されたケアプランそれを基にした個別援助計画や日々の記録、そして定期的な見直し、モニタリングが出来るようにする。	職員全員が個別援助計画の立て方や記録の書き方について取組み、介護に活かせるようにする。 6ヶ月
3	4	3ヶ月に1回の運営推進会議では、行事報告や社会福祉協議会の説明が中心となっている。	グループホームの運営に活かされる内容の運営推進会議とする。	利用者家族も参加しやすい環境づくり。事業所からも課題を提示していく。 6ヶ月
4	10	運営に関して、利用者や家族からの意見が十分に反映されているとは言えない。	利用者や家族からの意見を運営に反映させる。	家族との面会時、利用者の状況の説明にとどまらず、運営に関する説明をし、意見も聞く事が出来るようにする。 6ヶ月
5	35	災害時、昼夜を問わず、利用者が安全に避難できるよう、職員と近隣住民との協力体制も取っているが、夜間を想定した訓練は行っていない。	夜間を想定した訓練を行う。	グループホームの夜間体制を関係者(近隣住民を含む)に理解してもらい、夜間を想定した避難訓練をけんとうする。運営推進会議でも検討する。 6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。